

## 特集

# 地域連携&収益改善への業務DX実現 課題とその克服策 医療現場での具体例から学ぶ

### Q.月刊こみゅりんくとは？

こころんく開発元(株)プレアデスセブンが主催する病院経営改善オンライン講座「こみゅりんく」の内容や、お役立ち情報をまとめた情報誌です。講座の詳細は裏面に記載しています。

今回はオンライン講座「こみゅりんく」から「業務DXの実現に向けた課題とその克服策」をまとめました。

### ①DX導入への障害： 手作業依存と情報の分散

DX導入を阻む大きな要因として、**手作業への依存と情報管理の分散**があります。具体的には、**データが紙ベースやExcelで管理され、担当者ごとにフォーマットや入力方法が異なり、統一的な分析が困難な状況が課題**となります。

この問題を克服する為に、**あらゆる情報のデータベース化**（例：記録日時・連携先機関名・職員名・傷病名・患者名などの表記統一）を推進し、**全ての情報を一元管理できるシステムを構築**することで、**業務の可視化と分析能力の向上**を図りましょう。

### ②医療機関内の意識と連携の不足

DX化を進めるには、**医療機関内の各部門が協力し合うことが必要**ですが、**医師や看護部、連携室など部署間の連携不足はDX化の大きな障害**となります。これを克服する為に、**意思決定に関与する上席者**（理事長・院長・事務長や法人本部など）を巻き込み、**部門間での情報共有体制を構築**することが重要です。

具体的には、**稼働率に直結する活動を行う部署＝入退院支援センター（地域連携室）が主体**となり、**部門横断的な会議を開催し、データを基にした課題を共有し、法人全体で解決策を議論する体制を構築**しましょう。

### ③意識改革をDX推進のための教育

医療現場におけるDX化は、**技術だけでなく、スタッフの意識改革が鍵**となります。

- ・職員がDX化のメリットを実感
- ・目的と目標の明確化
- ・データ分析の必要性を理解＝教育
- ・自発的に取組むようになるための仕組化
- ・グラフ表示による数字の視覚化＝見やすさ
- ・クラウド化やペーパーレス化への努力と慣れなどが重要です。

これにより、**現場スタッフの一人一人がDXの本質（＝自分も皆も楽になり、何より患者様の為となる。）**を理解し、**法人内のDX文化の定着**がよりスムーズに進みます。

まとめ | 業務DXは、

- ・医療現場の効率化
  - ・患者満足度の向上
- に、直結する重要な取り組みです。

しかし、その成功には、

- ・手作業依存の解消
- ・部門間の連携強化
- ・職員の意識改革

が欠かせません。

医療関係者の皆さまも、**自施設の課題に向き合いながら、DX化を進めていく第一歩を踏み出して**みてはいかがでしょうか。

# 講座参加者の声

こみゅりんく第4期（2024年11月11日～12月16日）が無事に終了し、全国から5病院様にご参加。修了式では、各病院様が学ばれた内容を資料にまとめて発表し、ディスカッションも活発に行われました。参加後のアンケートで感想を頂きました、ある病院様のお声を披露させていただきます。

## Aさん | 法人本部 連携推進担当

データ集約による院内&院外との情報共有についてやるべき事が明確になりました。特に入退院経路分析では、相談件数に対してキャンセル件数の把握ができていないことに気づかされました。いろいろなデータがある中で、いかに必要なデータを統合して、検討・理解・共有することが大切なのかを学びました。

## Bさん | 副看護部長 入退院支援室

必要な情報収集とデータ分析することで課題が明確になり、解決の糸口が見え、アプローチの方法を学習できました。連携先アンケートなどもあり成果報告会までの時間が短く、通常業務との進行が厳しいと感じましたが、講義内容に関しては回を追うごとに楽しくなりました。ありがとうございました。

## Cさん | 連携室 ソーシャルワーカー

連携室の仕事を可視化すること、情報収集しデータ化することの大切さを学びました。業務フロー図を作成していなかったのが、雛形を頂き作成するきっかけとなりました。当院ではベッドコントロール担当看護師と一緒に参加できたのが良かったです。講座は、連携室職員だけでなく、経営層と一緒に参加したほうが良いと感じました。

## 地域連携推室から発信 経営改善コミュニティ こみゅりんく



人口減少、病床機能の変革…

これからの地域ヘルスケア戦略を明確にして連携先（病院、クリニック、在宅、介護）から愛される地域No1病院を目指しデータに基づく戦術を学びます。

現状、看護部主導でのベッドコントロールからチームでの活動へと、変化するきっかけとなりました。

他施設や他院から当院に対する要望を聞いたことで、改善策の検討を、部署内で話し合うことができました。

日程 第5期 2025年2月3日(月)～

回数 全5回

方法 オンライン 

費用 無料

資料と申込は [こちら](#)



経営改善の実践的ノウハウを学ぶ“こみゅりんく”で次の一手を！